

第2回
定例会

一般質問

第2回定例会の一般質問は、6月20日、21日、22日の3日間行われ、13名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたぐすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



佐々木 英徳 議員



「COCOLOプラン」を受けての不登校支援の推進について

問 文部科学省が発表した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」を受けて、不登校児童生徒の保護者を支援していく取り組みや、不登校児童生徒の多様な学びの場および多様な学びの場での成績評価について、課題と所見を伺う。

答（教育部長） 市のスクールカウンセラー等を学校に派遣する

など、保護者を支援する体制を整えている。多様な学びの場として、校内の別室で適宜対応し、学校外では教育支援センターを市内に3カ所設置している。成績評価は、紙媒体やオンライン、多様な資料を用いて反映している。今後も児童生徒本人、保護者と連携し、寄り添いながら支援を継続していく。



熱中症対策の推進について

問 気候変動の影響により、国内の熱中症死亡者数は増加傾向

が続いている。こうした状況を踏まえ、熱中症対策を強化するため、高齢者世帯等の熱中症対策および子どもの熱中症防止の取り組み等について、課題と所見を伺う。

答（福祉部長） エアコンの早期点検等の注意喚起を進める。物価高騰による使用控えが増える可能性がある一方で、高齢者の命を守るためにも節電に配慮したエアコンの適正使用の普及啓発に努める。

答（教育部長） 令和2年度には児童生徒全員に冷却タオルを配布し、熱中症対策に一定の成果があったと考えている。熱中症警戒情報が発令された場合は、各学校の計画による対応策を実践している。